

### 《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

#### ◆日銀、1.0%への利上げ決定 国債買い入れ減額は27年4月以降停止

・日銀は金融政策決定会合で、政策金利である無担保コール翌日物レートの誘導目標を0.75%から1.0%に引き上げると決めた。中東緊迫に伴う原油高の波及でインフレが加速するリスクを抑える。債券市場の安定を重視し、国債の買い入れ額を減らす措置は2027年4月以降に停止することも決定した。

#### ◆10円玉の素材価値、銅高騰で「額面超え」 1円玉にもアルミ高の影

・10円硬貨の金属としての「価値」が一段と高まっている。主原料となる銅相場の高騰と円安が重なり、含有する金属の時価は額面の10円を上回った。AI(人工知能)インフラを支える素材として銅の需要が世界で拡大。硬貨を支える金属の姿が様変わりしている。財務省所管の造幣局によると10円玉の金属の配合割合は銅95%。

#### ◆アイス値上げ、物価上昇に便乗か カルテル疑惑で公取委6社立ち入り

・公正取引委員会はアイスクリームの希望小売価格を巡るカルテル疑惑で食品メーカー6社を立ち入り検査。暮らしに欠かせない食料品の値上げに便乗して競争をゆがめ、消費者が不利益を被った恐れある。独占禁止法違反容疑で検査したのは明治、森永乳業、ロッテ、森永製菓、江崎グリコ、赤城乳業。6社は国内市場で過半数のシェアを持つ。

### 《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

#### ◆世界の蓄電所「建設コスト」、ガス火力以下に 電池価格1年で4割安

・世界の電源別の建設コストで蓄電所が初めてガス火力発電を下回った。中国の過剰生産と電気自動車(EV)向けからの用途転換で2025年の電池価格は前年比で4割安く。一方、タービン(原動機)需給の逼迫からガス火力の新設コストが上がった。中東危機によるガス燃料高が反映され、26年以降両者のコスト差はさらに広がる可能性がある。

#### ◆パナソニックHD、時価総額10兆円 「AIに賭け」期待高まる

・パナソニックホールディングス(HD)の時価総額が10兆円を初めて超えた。データセンター向け蓄電システムなど人工知能(AI)インフラ関連製品の成長期待を見込んだ買いを集めており、1年で株価は約2.7倍に。パナソニックHD株は続伸し、一時前日比134円(3%)高い4144円をつけた。終値は69円高の4079円で、終値ベースでも10兆円を超えた。

#### ◆5月首都圏新築戸建て、5000万円の大台に 23区下落も1億円超

・東京カンテイが公表した5月の「市況レポート」によると、首都圏の新築一戸建て住宅の平均価格は前月比2.3%増の5043万円となり、2014年4月の集計開始以降で初めて5000万円台に乗せ、過去最高を更新。近畿圏は同1.0%増の3941万円と3カ月連続の上昇、中部圏は同0.3%増の3512万円となり2カ月ぶりに上昇。

### 《 注目商品 》

#### ■タカショー、非住宅向け和空間ブランド

・非住宅分野向けの和空間ブランド「KUON 久遠」を始動。7月開催の展示会「タカショーガーデン&エクステリアフェア2026(TGEF2026)」で初公開。上質な和の空間づくりにふさわしい色柄や部材を選定し、施設の内と外、建築と庭を一体で提案。



#### ■ウッドワン、木のキッチン「su:iji(スイージー)」にオーク突板のフラット扉を追加

・木の質感を活かした家具のような雰囲気も魅力の木のキッチン「su:iji(スイージー)」にオーク突板のフラット扉を追加ラインナップ。ニュージーパイン(R)をはじめ、オーク、メイプル、ウォールナット、桧の5種の無垢の木の展開。シリーズ初となる突板のフラットデザインを発売。



#### ■永大産業、薄型リフォーム用上貼りフロア

・既設の床に上から貼るだけで施工できる薄型リフォーム用上貼りフロア。工期短縮や施工時の騒音・粉塵を抑制し、廃材削減とコスト低減を可能にした。厚さが1.8mmと薄型のため、サッシ枠との段差や建具下部などの干渉を抑え、納まりの良い仕上がりを実現。

